

牧羊ひろば



北大阪教会 教会学校

●教会学校の概要

北大阪教会では毎週日曜日午前九時から教会学校を行います。最初に礼拝を献げ、続いて分級をします。幼小科は幼稚科、小学下級科、小学上級科です。現在は生徒十名、教師八名です。また、教会暦に従った年間行事も行っています。

中高生会は午前九時四五分から別室で行います。今年から礼拝後にも中高生会を開いています。

●教会学校の対象者

北大阪教会の教会学校は、信徒子女の教育を主な目的で行っています。教団が発行している牧羊者を用いて、各教師が準備をしています。

また、教会に来ていない子どもたちへの伝道のために子ども大会などを行っています。

今回は、教会学校で行っている特別な行事について紹

介いたします。

●教会学校の主な年間行事

一、イースター

毎年、イースターには、教会学校の時間にイースター卵探しを行っています。事前にゆで卵をラッピングして用意します。前日の土曜日に、卵形のプレートにイスの下やテーブルの下やカーテンの裏などに貼ります。小さな子どもたちが見つけやすい場所にも貼ります。

そして、教会学校の礼拝が終わったあとで、幼稚科の子どもから卵探しが始まります。「あそこにある」「ここにあった」と大きな



花の日①

声を出して喜んで探します。探し終わった後に、たくさんプレートを集めた子どもから、見つけれなかった子どもにプレートをプレゼントします。そして、集めたプレートと卵を交換しますが、一人二個までです。それでも、自分で見つけた卵なのでとても誇らしそうにしています。

二、花の日訪問

六月第二聖日に花の日礼拝を行います。幼小科の礼拝を献げてすぐに自動車に分乗して出発します。そして、第二礼拝までに教会に戻り、子どもたちと一緒に礼拝を献げます。旭警察署と旭消防署に、日頃の感謝を込めて訪問して、



花の日②

教会で用意した鉢植えの花をプレゼントします。事前に連絡をしていますので、警察署も消防署も喜んで迎えてくれます。そしてご好意によって子どもたちはパトカーや消防車に乗せてもらえます。その時には、子どもたちはとても喜んでいきます。またはグッズのプレゼントをいただくこともあります。

毎回、事故なく怪我なく行つて戻れますようにと祈ります。主は祈りに答えてくださり、これまでトラブルなく行われています。本当に感謝です。

三、子ども大会

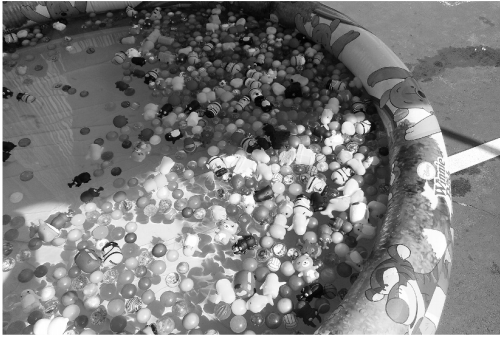
教会学校に来ていない子どもたちへの伝道のために、九月第二聖日の午後一時三十分から「子ども大会」を行います。前の週の半ばに、学校の前や近くで手分けして案内を配布します。校区外の小学校でも配布するようにしています。そのため、いろいろな小学校から子どもたちが集まります。子どもだけで校区外に出られないので、保護者も一緒に参加してくれます。

内容は、第一部が賛美と祈りとメッセージ、第二部がお楽しみ会です。おやつとしてフランクフルト、ミルク

せんべい、ポップコーンを用意しています。ゲームとしてスーパースクール、輪投げ、ビンゴゲームを準備しています。案内に引換券を印刷していますが、持っていない人のために引換券を用意しています。引換券にチェックするので、一人で何度もおやつをもらう子どもはいません。

子どもも保護者も一緒に楽しんでいきます。おやつは毎回八〇人分を用意していますが、全部なくなります。時には足りない時もあります。

子どもの頃に子どもも大会に来ていたという保護者もおられ「変わっていないので安心しました」と言われたことがあります。長年この地域で伝道してきた結



子ども大会

果を教えられて感謝しました。一度でも教会に来てもらいたいと願って子ども大会を行っています。これからも継続できるように祈っています。

四、児童祝福式

毎年十一月第二聖日第二礼拝中に児童祝福式を執り行っています。対象者は小学生以下です。子どもたちの成長のために祈ります。普段教会学校に来ていない信徒の子どもたちや孫まで案内を出すようにしています。そして、礼拝堂の前に出て、牧師が一人一人のために祈ります。その後、お祈りしてもらった子どもは会堂の後ろに行ってプレゼントをもらいます。プレゼントは箱入りのおかしを準備しています。一人一人お祈りするの、少し時間がかかりますが、子どもたちも保護者も喜んでいきます。

五、クリスマス子ども大会

毎年十二月第二聖日午後一時三十分から「クリスマス子ども大会」を行っています。内容は一部が賛美と祈りとメッセージです。二部がゲームとハンドベルとクリスマス

マス劇とプレゼントです。

ハンドベルとクリスマス劇は、十一月から生徒と教師と一緒に練習します。毎年、劇の配役と練習に苦労しますが、劇の練習を通してクリスマスの意味を味わえることは感謝です。

地域の子ども会活動やクラブ活動で、当日の出席者の人数は多少の変化はありますが、子どもだけで六〇〜八〇名の出席です。一度だけでも教会に来てもらいたいと願って行っていますが、リーダーの子どもの多いです。この子どもたちが、将来救われますようにと祈っています。



クリスマス

スが渡すようにしています。教会員の中には聖書的でないと言われる方もおられますが、子どもたちが楽しみにしていますので、あえて継続しています。

六、CSお楽しみ会

毎年春分の日に「CSお楽しみ会」を行っています。この会は、生徒と教師が仲良くなることを目的に行っています。以前はCS遠足として野外活動をしていましたが、現在は教会内で生徒と教師が共同で工作をしたり遊んだり料理を作っています。分級で担当していない子どもたちとも仲良くなれて、とても楽しい時を過ごしています。

ある年は子どもた



CSお楽しみ会

ちが厨房に入りきれなかったり、ある年には工作の時間が長かったりと、問題があっても次回には改善して、生徒と教師が仲良くなれるように工夫しています。

七、子どもプール

小学生以下の子どもを対象に、今年から「子どもプール」を始めました。今年は七月二一日礼拝後に行いましたが、好評のため八月一八日にも行いました。長さ3m、幅1mの大きなビニールプールを用意して、教会の駐車場に日よけ用のテントを張って行いました。

教団では教会行事で遊泳は禁止されていますが、ビニールプールなら大丈夫だと判断して行いました。



子どもプール

た。

プールの中にたくさんさんのビニールボールを浮かべてボール取りをしたり、水風船投げや水鉄砲遊びをしました。猛暑の中でしたが、プールの周りを教師や保護者が垣根のようになって監視して、プールの水温が上がりすぎないように氷をプールの中に入れて、子どもたちが安全に遊べるようにしました。

プールの他に、かき氷と飲み物コーナーを作り、子どもはもちろんのこと、大人たちも喜んで食べて良い交わりの時となりました。人と遊ぶことが苦手な子どもも、プール遊びで他の子どもたちと楽しく遊ぶことができたことを主に感謝しました。来年も続けたいと思っています。

八、母の日、父の日

毎年五月第二聖日に「母の日」を、六月第三聖日に「父の日」を行っています。教会学校の分級の時間にプレゼントを作成します。毎年違う工作を考えるのが大変ですが、雑誌やインターネットなどから情報を集めて、試作などをして準備をします。



母の日



父の日

また、礼拝の報告の時に子どもたちが教会の婦人、壮年にプレゼントを手渡しします。壮年、婦人たちには好評です。

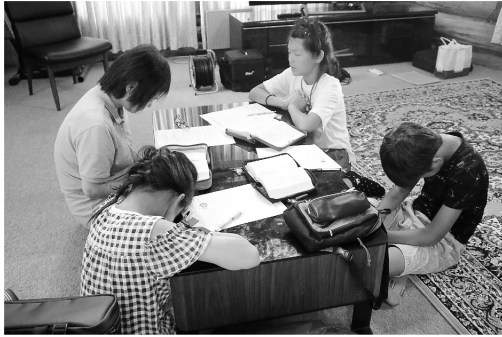
中高生会では教会員の家族写真やお友だち同士の写真を撮影して、壁新聞のように模造紙に貼って「ファミリー写真」として掲示します。これも、大変に好評です。

九、ファミリーキャンプ

毎年、八月に聖日の礼拝後から月曜日の午後の一泊二日でファミリーキャンプを行っています。以前は土曜日から月曜日の二泊三日でしたが、利用していたキャンプ場が自炊で、食事の奉仕者に大きな負担となりました。そのために、昨年からは食事付きの宿泊施設を利用しています。

CSの生徒はもちろんのこと、保護者や教会員も参加して神の家族（ファミリー）を体験することを目的としています。CSの集会だけでなく、大人のための集会も用意しています。自由時間も長くとっているのです、教会ではできない信仰の証しをしたり、交わりを持つことができます。特に、子どもたちは夜の時間まで楽しく遊ん

でいます。霊的な恵みとお楽しみが凝縮されたキャンプです。今後も継続されて、子どもたちが神の家族であることを体験して成長できるように、と祈っています。



ファミリーキャンプ

●今後の課題

これまで、教会員の子どもたちを対象に教会学校を行っていましたが、何とかして、未信者の家庭の子どもたちが教会学校に参加できるようにと願っています。日曜日の朝早くに子どもを教会に送り出してくれる家庭はありません。そこで、子育て世代への伝道が必要であると感じています。現在、子ども大会、クリスマス子ども大会に保護者が一緒に参加してくれています。その人たちへのアプローチを模索しています。祈り求めるなら、主が道を開いてくださると信じています。

(山本敬夫)